

ノロウイルスによる 感染性胃腸炎に注意

1 ノロウイルスとは？

乳幼児から成人までの幅広い年齢層に、胃腸炎をおこすウイルスです。
特に冬季が多く、年間を通して発生しています。

感染力が強く、少量でも発症し、ノロウイルスに一度感染した患者でも、繰り返し発症・感染します。

2 感染経路

ノロウイルスに感染した人が、十分に手洗いを行わず、ウイルスが手についたまま調理し、その食品を食べた人が感染します。

ノロウイルスに感染した人のふん便や嘔吐物を処理した後、手指にウイルスがついていると、口から取り込まれて感染します。
また、ふん便や嘔吐物が乾燥して舞い上がり、口から取り込まれて感染することもあります。

3 症状

発症するまでの時間は、24～48時間です。

症状は、下痢、嘔吐、腹痛、発熱などで、通常3日以内に回復しますが、ウイルスは感染後1週間程度ふん便中に排泄されています。

自覚症状がなくなってもウイルスの排泄が続く事があります。
(良くなったようでも、まだ完治していない)

4 感染予防対策

手洗い・うがいを日常的に習慣づけることが、感染予防の基本です。

食事前、排泄後には、石けんと流水で、ていねいに手を洗いましょう。

外出の有無にかかわらず、うがいを積極的に取り入れましょう。

